

領 収 控 (告) 労働保険 (国庫金)

※ 取 扱 庁 名 ※ 取 扱 庁 番 号

労働保険特別会計 厚生労働省 ※ 年度

労働者番号 種別 年齢 性別 籍地 職名 雇用形態 労働者種別

※ 納付年度(元号:令和は9) ※ 徴収年度(元号:令和は9) ※ 納付区分 徴収区分

納入告知書発行年月日 令和 年 月 日 ※ 収納区分

※ 徴収年度(元号:令和は9) ※ 徴収年度(元号:令和は9)

※ 証券受領 全部 一部

※ 口座振替受領

納付期限 令和 年 月 日

(住所) 〒

(氏名)

股

延滞金の計算方法

労働保険の保険料の徴収等に関する法律第28条、附則第12条

石綿による健康被害の救済に関する法律第38条

種別	延滞金	連滞金	雑収入	雑支出	繰入金	繰出金	収入	支出	繰入金	繰出金	収入	支出	繰入金	繰出金	収入	支出

納付の目的	年度一括納付金、連滞金、延滞金
納付の金額	令和 年 月 日 以降 入 組 入

上記の合計額を欄頭しました。
領 取 日 付 等

(取付機関用)

納入告知書・領収証書 (労働保険) (国庫金)

※ 取扱 役 庁 名

※ 取扱 役 庁 名

※ 取扱 役 庁 名

労働保険特別会社

〒 〇〇〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

労働保険 納付所番号 (〒) 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

※ 納付所番号 (〒) 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

※ 納付所番号 (〒) 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

右のとおり納付して下さい。 ※ 取扱 役 庁 名

〇〇 年 〇 月 〇 日

〇〇 年 〇 月 〇 日

〇〇 年 〇 月 〇 日

納付期限

今年 年 月 日

労働局労働保険特別会計
歳入徴収官

(住所) 〒

(氏名)

殿

延滞金の計算方法

労働保険の保険料の徴収等に関する法律第28条、附則第12条
右欄による延滞金の徴収に関する法律第38条

数量	単位	円	角	十	百	千	十	百	千	十	百	千	十	百	千	円
徴収額	(目)															
繰入金																
繰出金																
延滞金																
雑収入																

種 別	金額	円	角	十	百	千	十	百	千	十	百	千	円
雑収入													
延滞金													
納付額 (合計額)													

納付の場所
日本銀行(本店・支店・代理店又は歳入代理店)、所轄都道府県労働局、所轄労働基準監督署

上記の各計算欄を領収しました。

領 収 日 付 等

納付の目的

年度一括繰入金、雑収入、延滞金

〇〇年度 5月1日 以降 〇〇年度 繰入金 組 入 (納付者渡し)

注意事項

- 1 ※印のついた欄は記載しないで下さい。
- 2 納付額を記入するときは、必ずその前に「¥」記号を付して下さい。
- 3 延滞金は、一般拠出金が1,000円以上の場合において、督促状の送付を受け、その指定期限までに完納されなかったときは、納付を要します。
延滞金の額は、労働保険の保険料の徴収等に関する法律第28条、同法附則第12条及び石綿による健康被害の救済に関する法律第38条の計算方法（元本金額×延滞金利率×納期限の翌日から納付日の前日までの日数÷365）により計算して、その額及び合計額を該当欄に記入して納付して下さい。
- 4 延滞金を支払わなければならない場合において領収した金額が一般拠出金、追徴金及び支払われるべき延滞金の合計額に不足するときは、領収した金額を一般拠出金、追徴金及び延滞金の順に充当します。
- 5 この納入告知書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付の場所に提出して下さい。

備考

- 1 用紙の寸法は、各片ともおおむね縦11cm、横21cmとする。
- 2 各片は、左端をのり付けその他の方法により接続するものとする。
- 3 別紙第4号書式の備考4、14及び15は本書式に準用する。この場合において、別紙第4号書式の備考4中「取扱庁名欄の番号」とあるのは「取扱庁番号欄」と読み替えるものとする。
- 4 住所氏名欄は、左端から4.3cm上端から5.5cmの部分に縦4.7cm、横8cmの大きさで設けること。
- 5 納入者に本書式に係る納付情報により納付させようとするときは、当該納付に必要な事項を記載すること。
- 6 必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の調整を加えることができる。